

おしのとみみの
 気になることを、見て聞いてみた!

こんなおとながいるよ

しまだ めぐみさん (おとな)



小学生が学ぶ「学びの探究塾」を受け持っている。季節や行事に合わせて絵本や素材を用意し、「これみせたらどうなるかな、くいついてくるかな」など考えながら題材を選んでいるという。

「体験と知識と融合できるものを素材にしています」。マンツーマンでこどもに向き合うことも多く、「こどもがみんなである時と1対1でいるときの変化を見られることも興味深い」と話す。

奈良県寄りの京都出身。小学4年の時に転校を経験した。めがねをかけているだけで、先生から「しっかりしている」と言われ、人から見られる自分と本当の自分の違いに興味を持った。こどもの頃から「本当の学びって何だろう??」と疑問に思っていたという。高校卒業後、道教大函館校の社会心理学を学ぶ人間科学コースに進学した。サークルは「人間学研究会」に入部。サークルの仲間達と活動する中で、埼玉県にある私立の中学・高校「自由の森学園」に出会った。仲間に卒業生がいたこともあり、学校を訪れては、授業で生徒と一緒に歌ったり、体育で日本の太鼓と踊りに一緒に取り組んだ。「理科も数学も、とにかく授業が面白くて編入したいくらいだった」。

大学を卒業した後どう暮らすかを決められず、1年間休学した。休学中はテントをたずさえて、全国各地の芸能やお祭りを訪ね歩いた。東北から、八丈島、奄美大島、佐渡島…。その土地土地の暮らしや地元の人々との出会い、日本の文化の奥深さを味わった。そして、サークルで出会った仲間達と1998年に「ひのき屋」を結成した。

「ひのき屋」ではたいこつたを担当する。ひのき屋が幼稚園や保育園で行う演奏会では、演奏するとどんでん奏者にせまってくるこどもたちの姿が「面白い」とほほえむ。「学びの探究塾」は、こどもたちが学ぶことに楽しさを見つけ、自ら学ぶ力や、じっくりと考える力を身につけることを目指す。「くつろいでもらえたら良いなと思う。学校以外の場所があるのが良い。違う考え方に会ったり、自分と違う意見や視点も知ってもらえたら」。

つぶやき

ある日の夕方、中学生と高校生が集まる「ベースキャンプ」を訪れました。ゲームに夢中になっているこども、おとなと手話について話し合うこども、「ほろごしらえ」でエネルギーをチャージしているこども…。それぞれ自由な時間を過ごしていました。午後5時、みんな一つのことに取り組む「コアタイム」の時間。こどもとおとなみんなが中央のテーブルを囲みました。この日のテーマの一つは「スマホについて」。おとなが日常どのくらいスマホを使用しているかを7日のスケジュールを辿って話すと、かなり依存度が高いことが判明しました。すると、こどもが「それは仕事だからしょうがないよ」など自分の意見をしっかり述べ、おとなが黙められていたことが印象的でした。もう一つのテーマは、近日開催する「お菓子とゲームパーティー」の計画。こどもが自ら進行役となって、みんなの意見を聞きながら、持参するお菓子やゲームの内容について決めていきました。お菓子は金額で決めるか、個数で決めるか。私の想像に反し、こどもは個数で決めることを選択し、7個のお菓子の基準となるサイズまでわかりやすく例を挙げ、提示していました。「あ、こういう視点、忘れていた!」。声が出さなくらい興奮しました。ベースキャンプは、こどもが体験や経験を通じてさまざまな力を育む場所になっているんだと深く心に刻まれました。(おしの)

くにしま りり
 國嶋 莉々さん (おとな)



みかん箱のマネージャー。おもに中高生のベースキャンプで「現場」を担当し、経理や事務の補佐、広報もこなす。「みかん箱のなんでも屋さん」。宮城県出身。高校卒業後に道教大函館校に進学。1年生の時に友人と一緒に「はこだて国際民俗芸術祭」のスタッフになり、ドリンクの販売を経験した。国内外のアーティストが集い、元町公園で繰り広げられる函館の夏の一大イベント。「すごい祭りだなと思った」。

大学卒業後、札幌で就職。8ヶ月後に再び転勤で函館に戻ってきた。転職を考えていた時に、芸術祭で知り合い、SNSでつながっていた「ひのき屋」のワタナベヒロシさんが声をかけてくれ、昨年2月にみかん箱のメンバーに加わった。もともとこどもが好きだった。「正直で無邪気、素直なところが好き。小さいことでも笑えて、遠慮がないのがいい」みかん箱には物静かなと思うこどもも、よく話してくれると思うこどももいる。「先生ではないし、親ほど甘えられない。近所のお兄ちゃん、お姉ちゃんに接する感じが心地良いという。慣れてくると距離が縮まり、心をゆるしてくれるところもかわいい」。

これまでの活動で印象深いのは、昨年10月にベースキャンプのこどもと実施した自転車旅だ。自分を含め計9人が、クロスバイクやママチャリなどそれぞれの自転車にまたがり、1列になって、みかん箱をスタート。四季の杜公園を目指し、往復10キロ以上を走った。「想像以上に時間がかかった」。四季の杜公園到着後は、お弁当を食べ、遊具で遊び、また1列になって自転車のみかん箱に帰った。「無事に帰って来れた」と安堵した。

こども自身がみかん箱を居場所と感じ、のびのび家のように感じてくれていることが伝わってくるという。「距離が縮まって日々の出来事を話してくれます」。コマやけん玉、百人一首…。みんなで取り組むことで、それまでできなかったことができるようになったり、「成長の場になっている」と感じる。こどもの表情も日に日にやわらかくなり、笑うことが増え、成長を見れるのが楽しみだ。「こどもの居場所であってほしい」と願う。

会員の声

遊びに来てくれたおとな!
 ヨット乗りのよっぴーさんの話を聞いて



自分も計画性皆無なので共感できました。やりたいことができたので、高校に入ったらちゃんと計画立てていこうと思います。



自分もヨットに乗りたかったと思った。



ヨットのヒッチハイクとか初耳!



計画してなくても実行できるのはすごいと思った。けど今後も調べはして、実行してみようと思った。



会員募集中!

みかん箱の会費、開所日時など詳しくはウェブサイトをご覧ください。

mikanbako.info



みかん箱運営報告

- 小学生会員数 7人
- 中高生会員数 13人
- ボランティア数 4人
- 非常勤職員数 9人
- 常勤職員数 1人

(2025年4月30日時点)



編集後記

こんにちは! ゆいです! 今回は、2024年度の活動の様子を紹介させていただきました。活動写真もたくさんで、楽しそうな様子が伝わったのではないのでしょうか。みかん箱には沢山の仲間が関わり、出入りもしたり、沢山の出会いもあります。今年度ベースキャンプでは自転車旅を熱くしよう、という思いがあるので、興味がある方は一緒に自転車旅をしましょう!! (編集員: 宮原)

みかん箱通信 春号 No.4

2025年4月30日発行

一般社団法人みかん箱
 〒040-0053
 北海道函館市末広町9-9
 電話 0138-84-5762

- 発行人: 曾我直人
- デザイン: スギナカモモコ
- みかん箱通信編集員: 押野友美、國嶋莉々、福田琢磨、宮原ゆい



無料

みかん箱通信

START!

mikan bako



日常を抜け出して、
 自転車の旅へ



sasaki syoten



sikino morikoen



mikan bako

GOAL!

チルノワサイクルの横田です。今回このような機会をいただきありがとうございます。自転車の楽しいところは自分の力でどんどんと前に進み、今まで見た事のないような景色に出会えたり、新たな発見を見つけることができることです。最初は家の近くの散策から、自分の体力や経験を活かして次はもっと遠くまで出かけてみるのも楽しいですし、ひとりでも友達や仲間たちと計画して足を踏み入れたことのない地へ行ってみるのもワクワクしますよね。もちろん、苦しい坂道やトラブルもあるかもしれませんが、自分の力で乗り越え先に進めた時の達成感は素晴らしいものだと思います。是非、みなさんも自転車に乗って普段とは違う道を進んでみませんか? わからない事は是非チルノワまでお越しください。



@CHILLNOWA

— こどもがいくところ、おとながいるところ —

これまでの 自転車旅



まずは函館公園へ！



近くまで自転車で行って、
立待岬までは歩いて登ったよ！



太陽に向かって走るんだ！



四季の杜公園までの緩い上り坂がきつい！



第一目的地！ささき商店に到着！



遊具でたくさん遊んで、
そろそろみかん箱に戻ろう！

東南アジアの国、何個わかるかな？
(学びの探究塾)



Gスクエアで開催された
「進路相談」に参加！
(ベースキャンプ)



地震の
震源地はどこだろう
(学びの探究塾)



野菜の値上げ！
1週間で豆苗は
どのくらい伸びる？
(学びの探究塾)



ダンスと楽器演奏
をするタイの
グループと交流



くにしまりりの
シッターチャンス
じゃないですか？



丸ちゃん・阿部光平さんの
トークショー！
(12/9開催オープンみかん箱)

たこ焼きおいしくできた！
キムチが人気！
(ベースキャンプ)



たこ焼き会！
(ベースキャンプ)



福笑いを作って
遊んだよ！
(ベースキャンプ)



コーヒーを本格的に
淹れてみたよ！
(ベースキャンプ)



英語カードを
使って献立を
決めたよ！
(学びの探究塾)



ヨットで
旅をする
よっぴーさんの
お話し会
(ベースキャンプ)

2024年度の主な活動年表

4月	みかん箱開講
5月	キックオフイベント 大泉潤函館市長来訪
6月	ねそべっか参加、うどん会
7月	ピザづくり会、Tシャツ染め、立待岬
8月	芸術祭、留学生交流会
9月	おにぎり会、世界に1冊だけの本づくり
10月	四季の杜公園へ自転車旅
11月	なおみちカフェ 鈴木直道北海道知事来訪
12月	カレンダー作り、今年の振り返り
1月	亀仙人さんトーク
2月	タイグループ交流会
3月	2024年度お疲れ様打ち上げ会

その他の活動はインスタ@mikanbako_info や note で！



みかん箱を
応援したい方、
ボランティアに
興味がある方は
こちら！